

三鴨小だより

学校教育目標

やさしい子 かしい子 たくましい子

第30号

発行日 令和2年2月28日

発行者 三鴨小学校長 廣田 昌英

心身共に

2月下旬のある朝のことでした。まだ始業前だったのですが、喉が渴いた私は湯沸室に行き、コーヒーを入れたカップを持って校長室に戻ろうとしていました。すると、ある一人の保護者（お母さん）が、廊下を反対側から歩いて来ました。そしてニコニコしながら

母親「校長先生、おはようございます。」

校長「おはようございます。」

と、朝の挨拶は交わしたものの、そのお母さんの手には一足の黒い運動靴が.....

校長「あ、失礼ですが、それはいったいどういう状況なんですか？」

母親「ふふふ、子供が間違っって私の靴を履いて登校しちゃったんです。」

そう言って足早に西昇降口に向かっていきました。なるほど、靴を交換するために来校したわけですね。私はなんだかうれしくなって、その後ろ姿に向かって

校長「立派に成長してる証拠ですよね！」と、声を掛けました。でも、念のために

言っておきますが、成長してるのは足のサイズだけじゃありませんからね！

おすすめは？

1年生の掲示板に、一人一人の「おすすめのことば」が紹介されていました。担任の館野先生から「オリジナルのものもあります！」と、注意書きが添えられているのですが、そのオリジナルがとっても微妙でかわいらしくて笑ってしまいました。「赤パジャマ 青パジャマ 黒パジャマ」、「赤鉛筆 青鉛筆 黄鉛筆」、「青魚 赤魚 黄魚」など、オリジナルと言うより、実にカラフルで愉快的マイナーチェンジなんです。極めつけは「青ドレス 赤ドレス 金ドレス」.....金ドレスとは、思いきりド派手でまぶしそうですね。だけどこの早口ことば、なんか余裕で言えないかい？

未完の大器

その日は3時間目が終わると、体育着に着替えた5年生の子供たちが校庭に出

てきました。どうやら4時間目は体育のようです。ところが、担任の河内先生はすぐに連絡を取らなくてはならない保護者がいて、チャイムが鳴っても職員室であちこちに電話をかけています。『6年生を送る会での5年生の活躍はすごかったけど、こんな時の5年生はどうするのかな？』と、私は興味津々で校長室の窓から5年生を観察しちゃいました。すると、（予想通り）男子が実に楽しそうに自由を満喫し始めました。さも迷惑そうな女子の冷ややかな視線にも気付かずに。そのうち格闘技のようなことを始めた子がいて、私が『それは危ないよ！』と思ったとき、男子の誰かが私の視線に気付いて何か言ったようです。みんなが一斉に校長室を見たかと思うと、さっと整列して、「体操の隊形に開け！」となって準備運動を始めました。ふふふ、みんなやればできる子なんだよね。だったら.....ぜひ初めからやってね。4月からは三鴨小をよろしく頼むよ。.....赤白帽子を忘れた黄色い帽子の子が2人もいたけどね。

寝耳に.....

昨日夕刻、全国一斉臨時休校のニュースが流れました。驚きましたが、それだけ今の日本は深刻な状況だということですね。本日が突然の本年度最終登校日となり、担任の先生たちの動揺はかなりなものです。それは子供たちにとっても同じことでしょう。特に6年生、このような形で三鴨小最後の日がやってこようとは.....。しかし、臨時休校にもかかわらず、「卒業式を行う場合には.....」と、含みをもたせた言い方が報道されています。今後は何らかの形で卒業式を実施できるよう検討してまいります。保護者の皆様には今回の臨時休校の趣旨をお酌み取りいただき、お子様への感染予防のための御指導をお願いいたします。

なお、三鴨小だよりもこれが最終号となります。駄文にお付き合いいただき、誠にありがとうございました。でも.....もうちょっと6年生をいじりたかったなあ。